

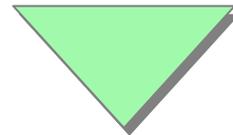
# 平成22年3月期 決算説明資料

株式会社ディーエムエス



## 経済環境

- ・ 企業業績の悪化や設備投資の減少
- ・ デフレ傾向が企業収益や雇用環境に悪影響



## 広告業界

総広告費が2年連続で減少（前年比88.5%）

（株式会社電通「2009年日本の広告費」より）

## DM業界では…

販売促進に直結する  
ダイレクトメールの  
媒体特性

公共的な通信業務  
の需要



不況の影響は少ないものの、  
顧客企業の予算規模は縮小傾向

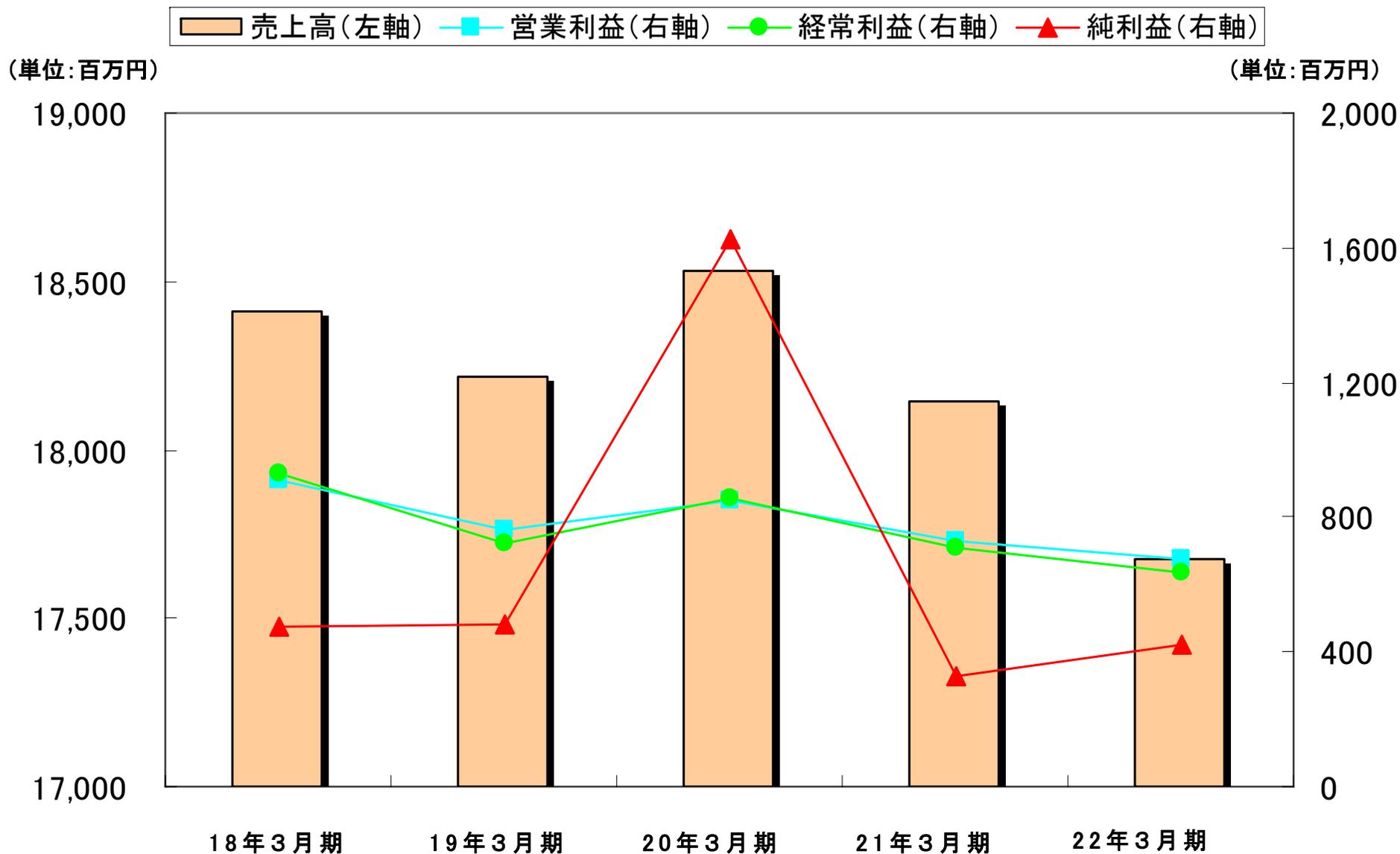
## 新規顧客開拓

“トータルサービス”を強みに新規顧客開拓を積極的に展開し、売上を拡大。

## メーリングサービス業務の内製化

業務センターを中核とした生産体制の増強と効率化により、宛名データ処理・出力やメーリングサービス業務の内製化を推進。

# 過去5事業年度の主要連結財務指標の推移



# 平成22年3月期 決算概要(要約連結損益計算書)

(単位：百万円)

	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	前年同期比
売上高	18,413	18,215	18,532	18,145	17,677	▲468
営業利益	912	765	851	727	677	▲50
経常利益	930	725	857	706	637	▲68
当期純利益	478	482	1,623	325	419	94

## ◆要 因

- 売上高：新規顧客開拓を積極的に展開するも、厳しい経済環境のもと、顧客企業の予算規模の縮小傾向が影響し減収。
- 営業利益：販売管理費が削減されたものの、売上高の減少の影響により減益。
- 経常利益：上記の要因により減益。
- 当期純利益：上記の減益要因があったものの、保険金受け取りによる特別利益の計上により増益。

(単位：百万円)

	22年3月期会計年度			
	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
ダイレクト メール	15,807	▲102	1,166	▲122
セールス プロモーション	1,335	▲246	121	20
イベント	507	▲118	10	4

◆要 因

- ダイレクトメール：  
 ●トータルサービスを強みとした提案型営業の展開  
 ●販売促進に直結するダイレクトメールの特徴が評価  
 ●顧客企業における規模縮小の傾向やコストダウン要請対応
- セールスプロモーション：  
 ●各種販促支援および企画制作業務の受注に注力  
 ●企画制作案件の付加価値が利益に貢献
- イベント：  
 ●各種イベントの運営業務の受注に注力  
 ●不採算案件を整理

# 平成22年3月期 決算概要(要約連結貸借対照表)

(単位：百万円)

	21年3月期 会計年度末	22年3月期 会計年度末	前年同期比	主な増減内容
流動資産	6,796	5,500	▲1,296	●設備投資・有利子負債圧縮：▲1,526 ●仕掛品・立替郵送料の減少：▲144 ●営業債権の増加：+463
固定資産	6,398	5,920	▲478	●減価償却等：▲195 ●賃貸物件の保証金返還：▲35 ●繰延税金資産の減少：▲238
繰延資産	—	10	10	●社債発行費：+10
資産合計	13,195	11,431	▲1,763	
流動負債	6,245	3,109	▲3,135	●長期借入金への借り換え：▲2,725 ●設備投資代金等の決済：▲324
固定負債	458	2,017	1,559	●社債の発行：+395 ●長期借入金への借り換え：+1,196
負債合計	6,703	5,127	▲1,576	
純資産合計	6,492	6,304	▲187	●当期純利益の計上：+419 ●剰余金の配当支出：▲141 ●自己株式の取得：▲496 ●有価証券評価差額金：+30
負債・純資産合計	13,195	11,431	▲1,763	

# 平成22年3月期 決算概要(要約連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	22年3月期 会計年度	主な増減内容	(参考) 21年3月期 会計年度
営業活動 キャッシュ・フロー	927	<ul style="list-style-type: none"> <li>●税金等調整前当期純利益の計上：+728</li> <li>●減価償却費の計上：+679</li> <li>●売上債権の増加：▲463</li> </ul>	1,399
投資活動 キャッシュ・フロー	518	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設備投資：▲481</li> <li>●定期預金の取崩し：+989</li> </ul>	▲582
財務活動 キャッシュ・フロー	▲1,982	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期借入金の返済：▲3,098</li> <li>●短期借入金の返済：▲155</li> <li>●自己株式の取得：▲496</li> <li>●長期借入れによる調達：+1,570</li> <li>●私募債による調達：+488</li> </ul>	▲709
現金及び 現金同等物残高	1,312	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上記の各要因による資金の減少：▲536</li> </ul>	1,849

景気の自律的な回復に向けた動きは弱い状況

競争激化・顧客企業からのコストダウン要請

有効なプロモーション媒体としてのDM需要



引合いはあるものの、厳しい営業環境が続く見通し

# ①設備投資・営業展開・ 現場の生産性向上



情報処理出力プリンタやメーリング関連機器、本年9月に竣工予定のロジスティクスセンターなどのリソースを最大限に活用することで、営業展開の強化と現場の生産性向上を推進してまいります。

## ②周辺業務領域への拡大と進出

各種帳票出力・  
情報処理業務

ロジスティクス  
(物流サービス)

バックオフィス  
(事務処理代行サービス)

各種帳票出力に係わる情報処理業務に注力していくと同時に、ロジスティクス・物流サービスやバックオフィス・事務処理代行サービスなどの周辺業務領域への拡大を図ることで、顧客企業のニーズに幅広く対応してまいります。

## ③個人情報保護の継続的な改善

「プライバシーマーク」と「ISMS」のダブル認証。



認証取得部門: 管理本部、営業本部、  
オペレーション本部

個人情報保護や情報セキュリティに係る取り組みを定期的に見直し、継続的な改善を図っていくことで、社会の要請に応え、顧客の信頼を確保してまいります。

◆平成23年3月期 通期業績予想(連結／個別)

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)
連結	18,000	1.8	560	▲17.4	505	▲20.8	210	▲50.0
個別	17,700	1.9	550	▲18.5	500	▲21.9	200	▲52.1

◆平成23年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金(予想) 20円00銭

## 固定資産の取得について

当社は、当事業年度において固定資産の取得について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 本社ビル

- 取得資産／土地付区分所有建物  
(専有面積 591.72坪)
- 取得目的／本社社屋として取得
- 所在地／東京都千代田区神田小川町1-11 (仮)
- 竣工予定／平成22年12月

千代田小川町クロス完成予定図



### 2. ロジスティクスセンター

- 取得資産／建物(延床面積 1,725.47坪)
- 取得目的／業務体制の充実を図るため取得
- 所在地／埼玉県さいたま市桜区田島8-3-29  
当社業務センター敷地内
- 竣工予定／平成22年9月

ロジスティクスセンター完成予定図



## 自己株式の取得について

当社は、当事業年度において自己株式の取得を下記のとおり実施しましたので、お知らせいたします。

### 取得内容

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ●取得した株式の種類  | 当社普通株式       |
| ●取得した株式の総数  | 1,257,691株   |
| ●株式の取得価額の総額 | 496,554,730円 |

今後も株主還元の充実、資本効率の向上に努めてまいります。

業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス  
(経営企画室)  
TEL:03-6859-2961(代)